

JAが担う堆肥の高品質化・ペレット化・広域流通

(熊本県：JA菊池)

取組項目

飼養管理	良質堆肥の生産	堆肥の広域流通	国産飼料生産・利用	有機畜産	その他(※)
	○	○			

(※) 畜産GAP、農場HACCP、労働環境の改善、消費者理解の醸成 等該当するものを記入

<取組主体について>

- 所在地 : 熊本県菊池市
- 代表者 : 代表理事組合長 三角 修
- 組合員数 : 14,419名
- 雇用者数 : 正職員 427名
臨時職員 152名
- HP等 : <https://jakikuchi.jp/>



ペレット堆肥

<取組について>

○ 概要

- 堆肥の一次発酵は各畜産農家が行い、期間を要する二次発酵による完熟化はJAの堆肥センターで集約的に実施（集約化による低コストでの高品質化）。
- 高品質な堆肥生産のため、堆肥づくり講習を受講し、熊本県耕畜連携推進協議会による認定制度「堆肥の達人」を取得。
- ペレット化装置は、JAの堆肥センターに設置（ペレット化の効率化）。
- 堆肥はJA菊池が県内の耕種地帯の他のJAに販売（広域流通へのJAの関与）。
- 水分量が低く、輸送コストが安価で、かつ専用と散布機械（マニュアルスプレッダー）を必要としない「ペレット堆肥」の生産にも取り組んでいる（堆肥生産量の5%）。
- 耕種地帯のJAの指導員と会議や研修を毎年開催し、JA菊池が生産する堆肥の品質をアピール。
- 耕種側にストックヤード等を整備し、ストックヤードから各生産者への堆肥の運搬は、耕種側で対応。
- 耕種地帯のJAとの連携を深めることにより、安定的な堆肥の販売と稲わらの入手を通じて管内の畜産農家の経営安定に貢献。

○ 今後の課題

- 地域での課題として、散布機械の充実やほ場への進入口整備。
- 稲わらを安定的に確保する。
- 堆肥の広域流通を推進するために、今後の展開として以下を検討。
 - 堆肥利用を促進するための方策（堆肥利用作物への認証制度など）
 - 組織間連携をマッチングする組織を県域を越えて編成（九州で1つ協議会を設置、情報共有）
 - 広域流通に対する支援の充実（モデル事業、機械や施設整備事業）

